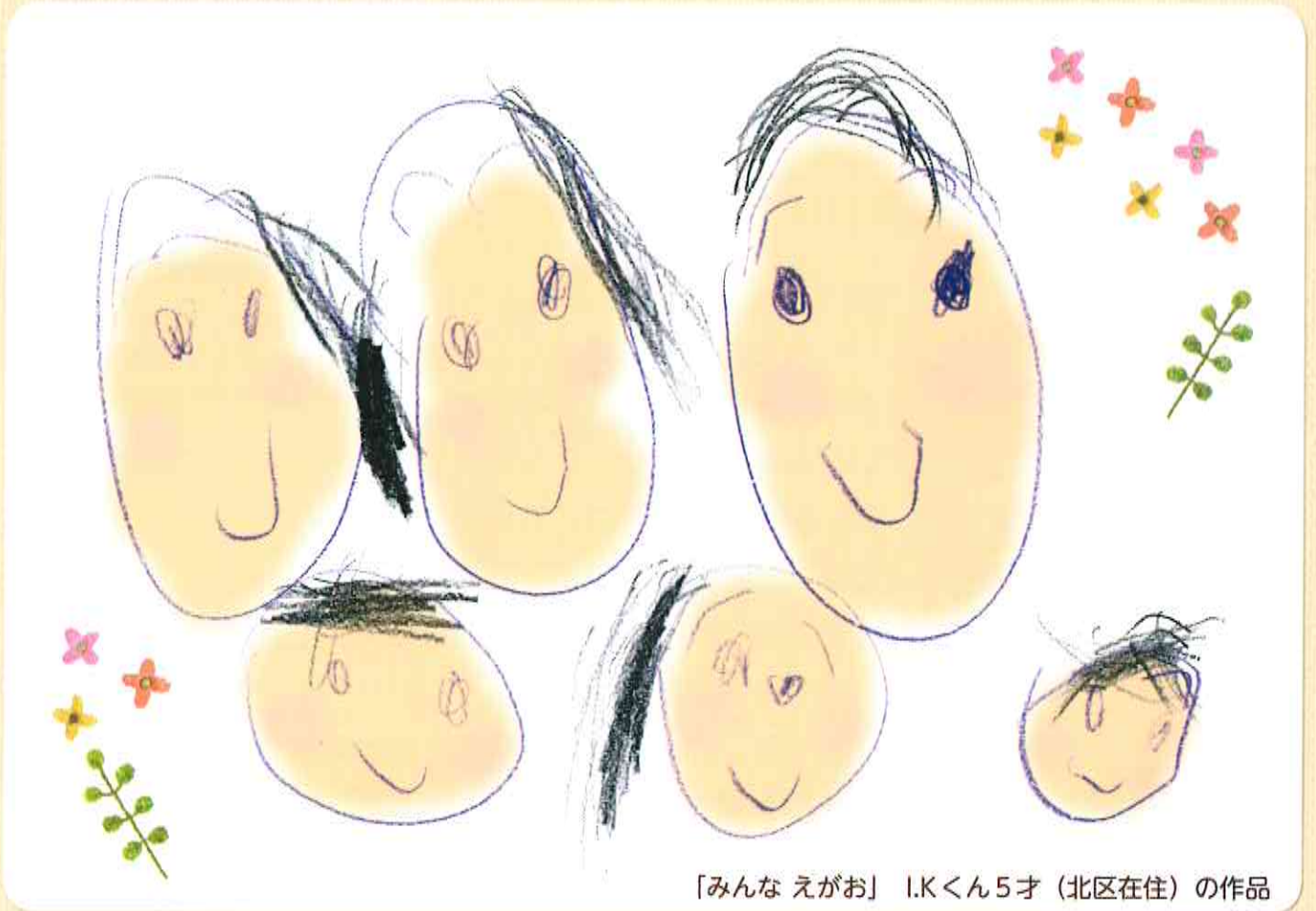




認知症ケアパス

北区版

認知症ケアパスとは、認知症の進行状況にあわせて、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受けられるのかを示したものをいいます。



「みんな えがお」 I.Kくん5才（北区在住）の作品

認知症は脳の病気です

認知症とは、

いろいろな原因で脳の細胞が縮んだり、働きが悪くなるために、「物事を記憶したり、判断する能力」や「時間や場所、人などを認知する能力」などが低下し、日常生活の中で支障をきたしている状態です。

認知症になると何もできなくなると思われがちですが、そうではありません。長年やってきたこと、得意なこと、好きなことを生かして、活躍されている方がたくさんいらっしゃいます。

まわりの方のサポートや、安心できる環境、適切な治療があれば、認知症になっても自分らしい生活を長く続けることができます。

認知症を正しく理解し、ご本人やご家族、まわりの方々と、これからの生活を一緒に考えていくことが大切です。

認知症かな？チェックリスト

以前と比べて、このような変化はありませんか？
いくつか思い当たることがあれば、いきいき支援センターにご相談ください。



- 同じことを何度も言う、聞いてくるようになった。
- 出かけることが減り、閉じこもりがちになった。
- 今までできていたことができなくなってきた。
- 失敗すると、言い訳をしてとりつくろうようになった。
- 鍋を焦がすことがたびたびある。
- しまい忘れや置忘れが多く、いつも探し物をしている。
- 盗まれたなど、身近な人を疑うようになった。
- 自分で買い物へ行くが、昨日買って来た物をまた買ってくる。
- 使い慣れた家電製品の操作ができなくなってきた。
- 薬の飲み忘れや、飲み間違いが増えた。
- 料理がうまくできず、味付けが変になった。
- 慣れた道でも迷うことがある。
- 身だしなみに無頓着になった。
- 小銭での支払いができなくなってきた。
- ささいなことで怒りっぽくなった。
- ひとりになると怖がったり寂しがったりする。
- 最近、自分がおかしくなってきたなどと言うことがある。

(家族サロン参加者のご意見をもとに作成しました)

認知症の進行に合わせた「家族の心がまえ」や「ケアのポイント」

この表は、アルツハイマー型認知症の進行と主な症状をもとに作成しています。認知症の原因となる疾患やお身体の状況などにより経過は異なりますが、今後を見通す参考にしてください。家族や周囲の方が、認知症を理解し、進行に合わせて対応していくことが大切になります。

認知症の進行 (ご本人の様子)	家族の気持ち (例)	家族の心がまえ	ケアのポイント
健康 —			
認知症の疑い <ul style="list-style-type: none"> ● お金の管理や買い物など、日常生活はひとりでできる ● もの忘れが気になる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 否定、年齢のせい、言えばできるはず 	学び、理解しよう。 	● いきいき支援センターやかかりつけ医に相談 ↓ ● 介護保険を申請 ● 薬による治療 ● 役割や社会参加の機会をもつ
ひとりで生活ができる <ul style="list-style-type: none"> ● 日常生活はなんとか行っている ● 日付や時間がわからなくなる ● 買い物やお金の管理にミスが見られる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 混乱がなせ、拒絶 ● 認知症状に振り回されてしまう、自分だけ ● 介護の疲れ 	仲間をつかって情報収集しよう。 	↓ ● 介護保険の申請等
見守りが必要 <ul style="list-style-type: none"> ● 買い物やお金の管理ができない ● 服薬管理ができない ● 電話の対応や訪問者の対応が困難 ● 道に迷うことがある 		頑張りすぎないで！ 	● 介護保険サービスの利用 ● 地域での見守り、支えあい ● 行動心理症状などは、認知症専門医療機関へ
手助け・介護が必要 以下のことに手助け・介護が必要になる <ul style="list-style-type: none"> ● 着替え ● 入浴 ● 食事 ● 排泄 ● 整容 (洗面・歯みがき・化粧) 		まずは自分の健康を！ 	↓ ● 定期的な支援、行動心理症状や身体合併症への対応
常に介護が必要 <ul style="list-style-type: none"> ● 車椅子・ベッドでの生活が中心になる ● 食事をとることが困難になる ● 言葉による意思表示・理解が困難になる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 割り切り ● 受容 ● どう看取るのか 	人生の最終段階におけるケアについて確認しよう。 	● 介護保険サービスの利用 ● 在宅での診療、看護 ● 穏やかに苦痛なく過ごす

認知症の人や家族を支援する主な制度やサービス

詳しい制度やサービスの内容等については、いきいき支援センターにご相談ください。



介護・福祉

生活の不安や生活のしづらさを感じたら、介護や福祉の専門職に相談してください。あなたらしい生活を応援します。

介護保険制度

ホームヘルプ、デイサービス、訪問看護、ショートステイ など

相談窓口

- いきいき支援センター（介護や福祉のなんでも相談窓口）
 - ケアマネジャー（居宅介護支援事業所）
- ※介護保険の申請等についてもご相談ください。

電話相談窓口

- 名古屋市認知症コールセンター ☎052-919-6633
- 愛知県認知症相談窓口 ☎0562-31-1911
- 若年性認知症コールセンター ☎0800-100-2707

わたしらしく住み慣れたまちで
安心して暮らしたい



住まい

転ばないように手すりをつけるなど、暮らしや住まいの工夫についても相談できます。また、ひとり暮らしが不安になった場合などは介護の受けやすい住まいや施設もあります。

住まいや暮らしの環境を整える

- 住宅改修
- 福祉用具のレンタルや購入 など

自宅での生活が心配になった場合など

- グループホーム
- 老人保健施設（老健）
- 特別養護老人ホーム（特養）
- 有料老人ホーム
- サービス付き高齢者向け住宅 など



医療

お身体のごことは医療の専門職に相談してください。適切な診断や治療を行い、必要な場合は専門の医療機関を紹介します。

かかりつけ医

認知症について心配ごとがあれば、まずは「かかりつけ医」に相談しましょう。かかりつけ医がない場合は、いきいき支援センターに相談してみましょ。[医師による専門相談]や「もの忘れ相談医」、「認知症疾患医療センター」などの医療機関をご案内しています。



生活支援

困りごとや悩みごとはひとりで悩まずに、まずは相談してください。お金の管理などができる専門機関もあります。

家族の支援

家族教室、家族サロン、家族会、認知症カフェ など

生活支援サービスや地域での見守りや支えあい活動など

- 生活援助軽サービス事業
- 配食サービス事業
- 福祉電話の貸与
- 日常生活用具の給付 など



お金の管理、権利や財産をまもる

- 日常生活自立支援事業
- 成年後見制度 など



予防

いつまでも社会とつながりが持てるようにしたいですね。積極的に地域へ出かけることで健康の維持にもつながります。

介護予防教室・地域での交流の場

- 高齢者はつらつ長寿推進事業
- 認知症カフェ
- ふれあいいきいきサロン
- ふれあい給食会
- 老人クラブ など



認知症は早期発見・早期対応が大切です

- 早期に診断され、治療を受けることで、治る病気があったり、進行を遅らせることができると言われています。
- 早くから適切な治療やケアを受けることで、生活上の困りごとやトラブルを少なくすることもできます。
- 介護するご家族も、認知症や介護について正しい知識を身につけたり、仲間を見つけたりする時間をもつことができるようになります。



認知症は放っておくと、日常の生活のなかで不安や困りごとが増えたり、生活のしづらさがあられやすくなります。早期発見・早期対応が大切です。

問い合わせ先

★いきいき支援センター（受付時間 9時～17時（土日祝日を除く））

名前	所在地	電話・FAX	担当学区
北区東部 いきいき支援センター	北区平安2-1-10 第5水光ビル2階	電話：991-5432 FAX：991-3501	飯田、城北、杉村、 辻、東志賀、宮前、 名北、六郷、六郷北
北区西部 いきいき支援センター	清水4-17-1 北区在宅サービスセンター内	電話：915-7545 FAX：915-2641	味碗、大杉、川中、 金城、楠、楠西、光城、 清水、西味碗、如意
北区西部 いきいき支援センター分室	中味碗3-414	電話：902-7232 FAX：902-7233	

★北保健所（受付時間 8：45～17：15（土日祝日を除く））

名前	電話・FAX
北保健所保健予防課	電話：917-6554 FAX：911-2343

★北区役所（受付時間 8：45～17：15（土日祝日を除く））

名前	電話・FAX
北区役所福祉課	電話：917-6522 FAX：914-2100
北区役所楠支所区民福祉課	電話：901-2269 FAX：902-1843